

令和元年度

学校評価アンケート資料

《教員・生徒・保護者》

大阪商業大学高等学校

令和元年度 『学校評価』 アンケート結果

(資料) 学校評価アンケート内容

※教員・生徒・保護者で表現が若干異なりますが(主語の違い)、内容は下記となります

1. 学校の雰囲気がよい ----- <高校生活全体>
2. あいさつに溢れる学校である ----- <高校生活全体>
3. 自分のクラスが楽しいと感じている ----- <高校生活全体>
4. コースの取り組みには満足している ----- <高校生活全体>
5. 多様な資格取得ができるのでよい ----- <高校生活全体>
6. 本校の教員は教育熱心である ----- <高校生活全体>
7. 授業がわかりやすいと感じている ----- <学習>
8. 授業を意欲的に取り組んでいる ----- <学習>
9. 授業・模擬試験が進路に対応している ----- <進路指導>
10. 進路に必要な情報は適切に提供されている ----- <進路指導>
11. 先生は悩みを親身になって聞いてくれている ----- <生活指導>
12. 生徒に対する学校の規則は妥当である ----- <生活指導>
13. 生徒は学校の規則を守っている ----- <生活指導>
14. 生徒は生活指導について納得している ----- <生活指導>
15. 授業のベル着は守っている ----- <生活指導>
16. 学校行事は楽しく充実している ----- <行事>
17. 部活動は活発で充実している ----- <行事>
18. 校内の施設設備はよく整備されている ----- <その他>
19. 入学してよかった ----- <その他>

令和元年度 学校評価 資料

学校評価（生徒学年別）数字は% <u>今年/昨年</u>	学校評価（三者比較）数字は% <u>今年/昨年</u>
------------------------------	-----------------------------

①そう思う ②どちらかといえばそう思う ③どちらかといえばそう思わない ④そう思わない

1. 学校の雰囲気がよい					1. 学校の雰囲気がよい				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	34/25	38/41	17/22	11/12	保護者	31/29	57/56	11/12	2/3
第1学年	32/11	42/57	20/24	6/8	教員	19/17	52/63	23/17	6/3
第2学年	19/28	41/41	24/22	16/9	生徒(男)	38/27	38/38	16/21	8/14
第3学年	49/24	34/35	11/25	6/16	生徒(女)	26/21	42/47	23/23	9/9

2. あいさつに溢れる学校である					2. あいさつに溢れる学校である				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	45/35	39/39	11/16	5/10	保護者	44/25	45/50	10/20	2/5
第1学年	44/18	40/44	11/30	5/8	教員	6/13	69/48	22/32	3/7
第2学年	32/36	48/41	14/16	6/7	生徒(男)	47/37	39/38	10/15	4/10
第3学年	53/40	32/39	10/13	5/8	生徒(女)	36/22	40/40	16/18	8/10

3. 自分のクラスが楽しいと感じている					3. (生徒は) 自分のクラスが楽しいと感じている				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	51/47	37/36	8/12	4/5	保護者	38/36	44/44	15/12	4/8
第1学年	52/37	36/34	9/20	3/9	教員	15/13	68/74	17/13	0/0
第2学年	45/44	43/40	8/12	4/4	生徒(男)	54/47	36/36	7/12	3/5
第3学年	55/47	33/36	7/11	5/6	生徒(女)	45/47	37/37	13/12	5/5

4. コースの取り組みには満足している					4. コースの取り組みには満足している				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	49/38	39/40	9/13	3/8	保護者	33/32	50/52	14/13	3/3
第1学年	49/26	43/49	6/19	2/6	教員	8/6	44/45	38/43	10/6
第2学年	39/40	47/45	12/11	2/4	生徒(男)	49/38	40/40	9/13	2/9
第3学年	56/39	32/35	8/14	4/12	生徒(女)	48/39	40/42	9/13	3/6

学校評価（生徒学年別）数字は% <u>今年/昨年</u>	学校評価（三者比較）数字は% <u>今年/昨年</u>
------------------------------	-----------------------------

① そう思う ② どちらかといえばそう思う ③ どちらかといえばそう思わない ④ そう思わない

5. 多様な資格取得ができるのでよい					5. 多様な資格取得ができるのでよい				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	40/27	39/46	15/17	6/10	保護者	31/34	53/48	13/14	3/4
第1学年	38/22	43/44	14/28	6/6	教員	28/13	52/53	15/31	5/3
第2学年	32/28	42/46	20/16	6/10	生徒(男)	41/27	39/44	15/17	5/12
第3学年	49/28	33/42	12/18	6/12	生徒(女)	40/25	41/51	15/19	4/5

6. 本校の教員は教育熱心である					6. 本校の教員は教育熱心である				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	38/33	43/43	14/18	5/6	保護者	14/32	55/52	28/13	4/3
第1学年	36/25	46/49	13/20	5/6	教員	15/29	69/52	14/18	2/1
第2学年	31/30	41/47	22/18	6/5	生徒(男)	41/33	42/43	13/17	4/7
第3学年	46/28	40/44	10/19	4/9	生徒(女)	31/34	46/43	17/19	6/4

7. 授業がわかりやすいと感じている					7. 授業がわかりやすいと感じている				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	27/21	45/48	21/21	6/10	保護者	32/16	46/54	17/24	4/6
第1学年	22/10	52/57	22/24	4/9	教員	13/15	57/72	24/13	6/0
第2学年	19/19	46/53	27/22	8/6	生徒(男)	30/22	46/46	19/21	5/11
第3学年	39/18	40/48	16/22	5/12	生徒(女)	22/16	46/54	27/22	5/8

8. 授業を意欲的に取り組んでいる					8. (生徒は) 授業を意欲的に取り組んでいる				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	36/27	44/45	16/20	4/7	保護者	24/24	48/49	22/21	6/6
第1学年	38/26	46/45	14/22	2/9	教員	2/0	41/36	43/48	14/16
第2学年	21/29	49/45	24/21	6/5	生徒(男)	37/27	45/44	15/21	3/8
第3学年	44/28	41/44	12/17	3/11	生徒(女)	32/28	46/47	18/19	4/6

学校評価（生徒学年別）数字は% <u>今年/昨年</u>	学校評価（三者比較）数字は% <u>今年/昨年</u>
------------------------------	-----------------------------

①そう思う ②どちらかといえばそう思う ③どちらかといえばそう思わない ④そう思わない

9. 授業・模擬試験が進路に対応している					9. 授業・模擬試験が進路に対応している				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	37/33	40/43	16/16	7/8	保護者	27/19	55/59	13/18	5/4
第1学年	36/17	46/59	15/22	3/2	教員	13/6	46/47	31/39	10/8
第2学年	23/28	44/48	23/19	10/5	生徒(男)	40/35	40/42	15/15	5/8
第3学年	49/29	34/40	12/18	5/13	生徒(女)	32/27	42/47	19/18	7/8

10. 進路に必要な情報は適切に提供されている					10. 進路に必要な情報は適切に提供されている				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	44/36	43/43	9/14	4/7	保護者	30/30	53/51	13/15	3/4
第1学年	44/26	45/52	9/18	2/4	教員	24/22	55/51	16/18	5/3
第2学年	30/38	50/49	14/11	6/2	生徒(男)	37/30	35/38	16/20	12/12
第3学年	57/38	34/44	7/12	2/6	生徒(女)	25/22	35/41	23/26	17/11

11. 先生は悩みを親身になって聞いてくれている					11. 先生は悩みを親身になって聞いてくれている				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	36/29	45/45	13/19	6/7	保護者	30/30	53/51	13/15	3/4
第1学年	31/15	47/43	17/30	5/12	教員	24/22	69/64	7/14	0/0
第2学年	27/28	50/46	15/19	8/7	生徒(男)	38/30	44/43	13/19	5/8
第3学年	48/31	38/42	10/18	4/9	生徒(女)	31/26	48/49	14/19	7/6

12. 生徒に対する学校の規則は妥当である					12. 生徒に対する学校の規則は妥当である				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	33/28	33/28	18/22	16/12	保護者	55/39	36/50	7/8	2/3
第1学年	32/22	41/37	17/28	10/13	教員	24/28	55/51	16/18	5/3
第2学年	18/25	32/41	24/24	26/10	生徒(男)	37/30	35/38	16/20	12/12
第3学年	47/27	32/38	14/21	7/14	生徒(女)	25/22	35/41	23/26	17/11

学校評価（生徒学年別）数字は% <u>今年/昨年</u>	学校評価（三者比較）数字は% <u>今年/昨年</u>
------------------------------	-----------------------------

①そう思う ②どちらかといえばそう思う ③どちらかといえばそう思わない ④そう思わない

13. 生徒は学校の規則を守っている					13. 生徒は学校の規則を守っている				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	60/44	33/36	5/13	2/7	保護者	28/53	52/41	15/5	5/21
第1学年	66/42	28/49	4/6	2/3	教員	2/1	34/42	47/46	17/11
第2学年	53/54	36/39	9/6	2/1	生徒(男)	64/48	31/33	4/12	1/7
第3学年	60/58	35/33	4/6	1/3	生徒(女)	51/34	37/45	9/14	3/7

14. 生徒は生活指導について納得している					14. 生徒は生活指導について納得している				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	31/25	35/37	17/23	17/15	保護者	20/36	53/50	22/10	5/4
第1学年	31/24	39/38	16/24	14/14	教員	10/7	47/52	37/33	6/8
第2学年	20/23	32/41	24/22	24/14	生徒(男)	35/27	36/39	16/19	13/15
第3学年	41/23	34/36	15/23	10/18	生徒(女)	24/20	34/34	21/32	21/14

15. ベル着を守っている					15. ベル着を守っている				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	63/46	30/38	5/11	2/5	保護者	----	----	----	----
第1学年	69/44	26/41	3/13	2/2	教員	13/7	43/52	36/35	9/6
第2学年	59/58	32/33	7/7	2/2	生徒(男)	65/49	29/35	5/11	1/5
第3学年	60/58	34/31	5/6	1/5	生徒(女)	59/40	34/46	5/10	2/4

16. 学校行事は楽しく充実している					16. 学校行事は楽しく充実している				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	37/31	35/37	18/20	10/12	保護者	28/27	50/46	16/21	5/6
第1学年	36/24	34/42	21/24	9/10	教員	23/14	54/54	17/26	6/6
第2学年	23/28	39/40	23/20	15/12	生徒(男)	39/31	36/36	17/20	8/13
第3学年	49/28	34/34	12/23	5/15	生徒(女)	33/29	33/40	22/20	12/11

学校評価（生徒学年別）数字は% <u>今年/昨年</u>	学校評価（三者比較）数字は% <u>今年/昨年</u>
------------------------------	-----------------------------

①そう思う ②どちらかといえばそう思う ③どちらかといえばそう思わない ④そう思わない

17. 部活動は活発で充実している					17. 部活動は活発で充実している				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	45/35	35/36	11/14	9/15	保護者	38/32	42/46	14/16	6/6
第1学年	46/28	34/34	10/21	10/17	教員	40/33	44/50	13/13	3/4
第2学年	27/33	40/41	20/12	13/14	生徒(男)	47/36	34/34	12/14	7/16
第3学年	55/37	33/36	7/15	5/12	生徒(女)	40/32	40/43	11/15	9/10

18. 校内の施設設備はよく整備されている					18. 校内の施設設備はよく整備されている				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	24/17	30/27	25/25	21/31	保護者	22/21	51/49	19/21	8/9
第1学年	18/9	30/38	25/32	27/21	教員	15/6	19/22	35/35	31/37
第2学年	13/15	29/29	34/31	24/35	生徒(男)	25/17	32/26	25/24	18/33
第3学年	36/15	29/24	16/24	19/37	生徒(女)	21/16	27/31	27/30	25/23

19. 入学してよかった					19. (生徒は)入学して(させて)よかった				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	33/22	42/39	18/23	8/16	保護者	30/40	50/46	16/10	4/4
第1学年	28/22	43/42	19/23	9/13	教員	11/4	51/71	29/25	10/0
第2学年	18/23	47/41	26/21	9/15	生徒(男)	34/21	43/39	17/22	6/18
第3学年	48/21	36/42	10/19	7/18	生徒(女)	29/22	40/44	21/24	10/10

令和元年度 「学校評価」 アンケート結果 考察

★★高校生活全般について★★（Q1-6）

「学校の雰囲気について」の質問に対して、大人（保護者・教員）は約80%が肯定的な回答であるが、生徒、特に女子生徒の3割以上が否定的な数値となっている。男子生徒では数値が昨年と比べて肯定的意見が増加している。共学化以来、女子生徒が過ごしやすい環境作りは課題となっており、検証する必要がある。

「あいさつに溢れる学校」については、生徒・保護者・教職員すべて肯定的意見が多くを占めるようになった。クラブ員を中心とした校内での挨拶習慣が、定着していると評価できる。あいさつは習慣的なものであるため、現状に満足するのではなく、決して強制ではなく、大人（教職員）から挨拶励行を継続することが重要である。

学校生活の根幹となっている「クラス活動」については、各学年ともに85%以上が肯定的な回答が出されていることは評価できる。クラスの雰囲気が学校行事だけでなく、日々の学習活動や知識の定着化につながるといっても過言ではない。今後も生徒たちと学級担任のともにクラス活動を豊かなものにする努力を行っていくことが必要である。

「コースの取り組み」について、例年通り生徒は概ね肯定的な回答であるが、教職員は否定的数値が高くなっている。ただ何となく、各コースで用意されたカリキュラムを消化していくのではなく、コースのコンセプト、到達目標を今一度明確にして、またそのカリキュラムや、各コースの特長的なプログラムを通じて、自らの将来像、可能性を探求させることにより、双方の肯定的回答が増加するのではないかと思われる。

「資格取得の多様性」は生徒、保護者、教職員ともに肯定的数値が多く出ている。しかし、各種検定の合格率は必ずしも上昇しているとは言えないのが現状である。各種検定への合格率の向上が、さらに肯定的なベクトルとなっていく。資格取得をメインに掲げているグローバル商大コースの充実にも繋がる項目であるため、教科のみでなく、学校全体で考え、盛り上げていくことが急務である。また1年次から目標を設定し継続的にモチベーションを持たせることも必要である。「教員の教育熱心」については、生徒からは80%程度の肯定的な回答が出ているが、保護者の意見としては30%以上が否定的な意見と厳しい結果になっている。教科指導、生活指導、進路指導、課外活動指導等、様々な局面があるが、総合的に情熱をもって接していくことが必要である。

★★学習について★★（Q7-8）

「授業のわかりやすさ」について、生徒の否定的回答が学年間で差があり、第2学年では35%が否定的な回答となっている。また生徒男女間でも若干の差が見られ、男子生徒の否定的意見が24%である一方、女子生徒の否定的意見は30%を超えている。学年間、男女間の差については今後検証していく必要があるが、授業が学習活動の根幹であるがゆえに、3割近くが否定的数値であること自体が問題である。生徒の9割以上が肯定的回答を目指すべく、公開授業や授業アンケートを有効活用し、教授法を高めていくことは勿論のこと、教科内での勉強会など校内での授業充実の気運を高めていくことも必要である。その他大学共通テスト等への対応を行い、また生徒参加型の授業形態を取り入れていくなど、工夫が望まれる。

「授業への意欲的な取り組み」は例年通り、生徒・保護者と比較して、教員の意見が厳しいものとなっている。特に3年生の2学期以降の授業へのモチベーションの低下が大きな原因となっていると思われる。1～2年生においても検定期や定期試験前だけでなく、継続した授業への積極的意欲的参加が、知識の向上につながることを訴え、3カ年で学力的な成長を目標にすることが必要である。生徒の授業に対するモチベーションの向上への仕掛けは教員の工夫が一番有効である。生徒たちが学習の楽しさ、知識をつけることの充実感など、生徒の気付きを教員側が行っていくことが必要である。

★★進路指導について★★（Q9-10）

「授業・模擬試験の進路への対応」について、生徒の回答は肯定的なものが中心ではあるが、教員の回答は否定的なものが多い。進路の可否だけでなく、真の学力をつけられたかどうか検証していく必要がある。そのために模試・学力テストなどのデータ分析、そしてそのデータの共有、改善策の検討、実施というサイクルが常に必要である。それらの作業が充実すれば、生徒・教員双方ともに肯定的回答が増加すると思われる。特に昨年度からの大学の定員厳格化の影響でより細やかなデータが必要となる。文理進学コースだけでなく、学校全体での取り組みが今後必要である。「進路情報の提供」については、進路指導部を中心に、進路ガイダンスや将来を考えさせる機会を提供しており、概ね肯定的な回答を得ている。今年度は(延期になったが)大学入試改革や英語民間テストの件についても生徒・保護者に情報を分析、確認し提供した。今後もシステムが急に変更になることも考えられるので、引き続き正確な情報をタイムリーに提供する必要がある。

★★生活指導について★★（Q11-15）

「教員は悩みを親身になって聞いてくれる」は三者（生徒・保護者・教員）ともに昨年度と比較して、肯定的回答が大部分を占めた。特に3年生は80%以上が肯定的回答となっている。学校方針でもある、日ごろのきめ細やかな教育活動の成果であると評価できる。「学校の規則の妥当性」については、生徒の否定的回答が30%以上となり、特に2年生では50%を超えている。入学時と2年進級時に異なるスマホ・ケイタイのルールとなり、混乱があったことも要因と思われる。次年度はまたスマホ・ケイタイのルール変更があるので、丁寧に校則遵守を訴えることが必要である。「生徒が規則を守っている」は例年と同じく、生徒の数値と教員の数値に大きな差が生じている。多くの生徒が校則を守っているが、一部の校則を守っていない生徒に対する指導に多くの労力を費やしていることと、規則の解釈の差異もあるかもしれない。「生徒は生活指導に納得している」に関しては、全生徒では35%程度が否定的にとらえているが、この項目についても2年生の48%が否定的回答と顕著に表れている。規則の妥当性の項目で前述したように、スマホ・ケイタイのルール変更も要因の一つではないだろうか。『指導する』側（教員）と『指導される』側（生徒）の立場の違いはあるが、その数値を近づけていくために、なぜ校則があるのか、校則を遵守することがなぜ大切なのかを繰り返し説いていくことが必要である。「ベル着を守っている」について、例年通り生徒は概ね肯定的な回答であるが、その一方教員は否定的な回答がまだ多い。生徒は授業開始のベルが鳴った際には教室内にいることをベル着ととらえている傾向にあり、その反面教員はベルと同時に授業を開始するという意味でとらえているギャップがあると考えられる。生徒・教員ともに「50分間しっかり授業を行う（受ける）」「授業第一」の意識を共有することが基本である。

★★高校生活全般・行事・その他について★★（Q16-19）

「学校行事」「部活動」について、肯定的回答が多数を占めているが、学校行事については、2年生の40%近く、女子生徒の30%以上が、否定的な回答となっている。部活動も含めて、女子生徒が主体的に活動できるような環境整備が肯定的結果へとつながっていくのではないかとと思われる。有意義な高校生活を過ごしていくために大事な要素であるので、生徒自治会を中心に取り組んでいく。

「校内施設設備」については、昨年度と比べ、僅かであるが、肯定的な数値が上昇したと判断できる。トイレのリフォームなど校内美化が計画的に進められている。それに対する評価と考えられる。また現存の施設の有効的使用および生徒の美化意識向上に努めることも併せて必要である。

「入学して（させて）よかった」については、概ね肯定的意見が多数を占めているが、教職員の40%近くが否定的な回答をしている。要因については早急に分析する必要があるが、教職員側の描いている到

達成度と生徒たちの到達度が乖離しているのではないかと考えられる。今後も最終学年の第3学年に向けて数値が向上するよう目指し、生徒、保護者の満足度が高まるポイントは何であるのか検証し、それに向けて実践していくことが必要である。また本校の募集活動にもリンクしていくことになるので、全教員で取り組んでいく。

△△まとめ△△

今年度の特徴として、比較的すべての項目について、肯定的な回答が多かったと判断できる。ただ、中間学年である2年生および女子生徒のデータでは他と比べて否定的数値が高くなっている。中間学年生徒のモチベーションが上昇するよう取り組み、および毎年課題となっている、女子生徒が活躍できる環境整備（部活動の充実、校内美化）が肯定的数値向上につながっていくのではないかとと思われる。あらゆる学校での活動において、生徒たちが苦勞・努力だけで終わるのではなく、その先にある達成感、成長などを生徒たちが体感できるよう、文字通り三位一体となって取り組んでいくことで、自ずと満足度（肯定的回答）が増加すると思われる。

施設面についても一定の評価を得ることができた。今後も継続的に施設改善の検討がなされており、生徒たちの学校生活に彩りを飾れるよう努力を続けていく。